

令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組
 < 八代市立太田郷小学校 >

1 行動宣言

環境にやさしい行動をとろう

重点

あかりをこまめに消す

- 休み時間はスイッチオフ
- 移動教室時はスイッチオフ
- そうじ時間はスイッチオフ

水道の蛇口はこまめに閉める

- そうじはバケツ1ばいの水で
- はみがきはコップ1ばいの水で

その他の取組

- 紙の無駄遣いをなくす
- ゴミを減らす
- 冷暖房の使用を節約する

2 取組の実際

(1) 環境ポスターの掲示



(2) 節電の点検と校内放送による呼びかけ

リサイクル環境委員会の児童が、毎週木曜日の昼休みに各教室の電気が消えているか点検し、その状況を翌日に昼の校内放送で報告して節電を呼びかけ、節電に対する意識の向上を図った。

(3) 古紙回収

各教室にリサイクルボックス（ダンボールや古紙入れ）を準備し、月に1回、リサイクル環境委員がその回収を行った。回収した物は、古紙回収業者にその都度引き取っていただいた。



(4) 節電を呼びかける掲示物の作成

リサイクル委員会の児童が節電を呼びかける掲示物を作成し校内で電気を使うところに掲示した。取組を放送することで全校児童の意識も高まった。



節電を呼びかける掲示物

(5) ごみ袋の削減

美化委員が、清掃活動時に収集したごみを一カ所に集め、ごみ袋に詰めていったことでごみ袋の大幅削減につながった。またごみの分別ができているかを点検し、意識づけを図った。



(6) ペットボトルのキャップ回収

ボランティア委員が呼びかけ、ペットボトルのキャップの回収を行った。回収した物は、ボランティア団体に渡し、発展途上国の子供たちのワクチン接種に役立てた。



(7) その他

- ・資源物を分別収集しやすいように、資源物庫内等に棚やボックスを設置した。
- ・印刷物の裏紙使用を推進し、紙資源を節約した。
- ・冷暖房使用の際、設定温度を定め、使用電力の節約に努めた。
- ・栽培委員会による清掃活動や花の栽培など、環境美化活動に取り組んだ。



ダンボール等資源物収納庫の様子



金属や瓶等の資源物収納庫の様子



印刷室に設置した回収箱



職員室内に分別用回収ボックス設置

3 見直し（成果と課題）

- 本年度から教室でのエアコン使用が始まったことから、電気使用量は12月末現在で前年度比40%増となっている。本年度の使用量を基準に削減目標を設定し、来年度からさらなる節電の意識を持って取り組んでいきたい。
- 節電の具体的な行動目標として、全学級に昼休みに教室の電気を消すことを呼びかけ、委員会の児童が毎週点検を行い、その状況を校内放送で知らせ意識の向上を図った。委員会の児童の呼びかけにより、電気が消えている学級の数が増えてきた。（1月末の達成率90%）また、児童も心がけて節電に取り組むようになり、昼休みだけではなく、掃除時間や、移動教室の時間などにも必要のない電気を消すようになった。
- 児童の環境保全に対する意識の喚起のため、環境保全を呼びかけるポスターを作成し、校内に掲示した。また節電を呼びかける掲示物を委員会の児童が作成して全学級に掲示し、呼びかけを行ったことで、児童の節電に対する意識向上につながった。
- ペットボトルのキャップ回収や資源ごみ回収などについても、委員会活動で児童を中心とした呼びかけが行われ、その活動の意義が多くの児童に周知され、取組の拡大がみられた。今後も、児童に加えて家庭や地域などへの呼びかけを行い、その意義の周知と積極的な態度の育成に努めたい。
- ごみの分別回収では意識の高まりがみられたが、ごみの量は増大の一途にある。今後、児童がごみの量削減にも意識が高まるよう、美化委員会等と連携して、一定期間のごみの量を計量したり、節電の取組同様数値目標を立てたりして意識化を図っていきたい。
- 印刷用紙の使用量も増加しており、職員についても裏紙使用やペーパーレス化による印刷用紙の減量や電気機器のスイッチをこまめに切るなどの資源節約の取組を徹底したい。